

道づくりだより

第42号

2011.8 烏根県道づくり調整会議



R261桜江トンネル開通(江津市)

Contents

- 一般国道261号 桜江バイパスが開通しました（道路建設課）
- 安能広域農道 安能トンネル工事見学会が開催されました（農地整備課）
- 道路愛護等に努めた方々が表彰されました（道路維持課）
- 10県知事共同で高速道路の早期整備を要望しました（高速道路推進課）



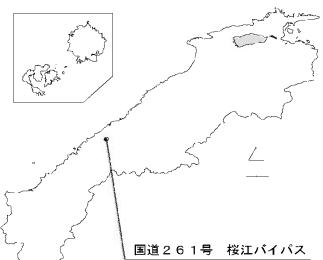
一般国道261号 桜江バイパスが開通しました。

このたび平成23年8月10日に、平成17年度から事業を進めてきました一般国道261号桜江バイパス（延長約1.1km）が開通しました。

事業箇所は、幅員が狭く、急カーブで交通の隘路となっており、昭和47年、58年、60年の豪雨時には江の川の氾濫により道路が冠水し、特に、平成14年の法面崩落では23日間に渡り通行不能になるなど、交通の遮断が余儀なくされ、災害に強い道路整備が強く望まれていました。

開通当日は開通式の後、開通セレモニーとして谷住郷神楽社による『桜江バイパス交通安全祈願神樂』、谷住郷保育所児童（年長組み）を先頭に、江津市民健康づくりウォーキングの方々による『桜江バイパス開通記念健康づくりウォーキング』が行われ開通を祝いました。

位置図



～事業の概要～

事業期間：平成17年度～平成23年度
事業費：約26億円
事業箇所：江津市桜江町谷住郷
延長：1,135m
道路規格：3種2級、設計速度60km/h
道路幅員：W=9.0～12.25m(6.5m)
主要構造物：桜江トンネル L=631m

延長 L=1,135m 幅員 W=9.0～12.25m(6.5m)



～整備前の状況～



法面崩壊による通行止め
(H14年3月～4月の23日間)



急カーブ・幅員狭小



豪雨時の道路冠水

全て解消しました

桜江バイパスの開通により、安全で円滑な交通が確保され、広域的な交流や物流の促進に貢献し、地域の活性化に大きく寄与するものと期待されます。

～開通式の状況～



テープカット



交通安全祈願神樂



開通記念健康づくりウォーキング

やすのう 安能広域農道「安能トンネル」の工事見学会を開催

去る7月18日（月）海の日に、安能広域農道で工事中の「安能トンネル」の見学会が開催されたので、その様子を紹介するよ～



『しまねの農業農村整備すごろく』

キャラクター ドジョウのどうじょく

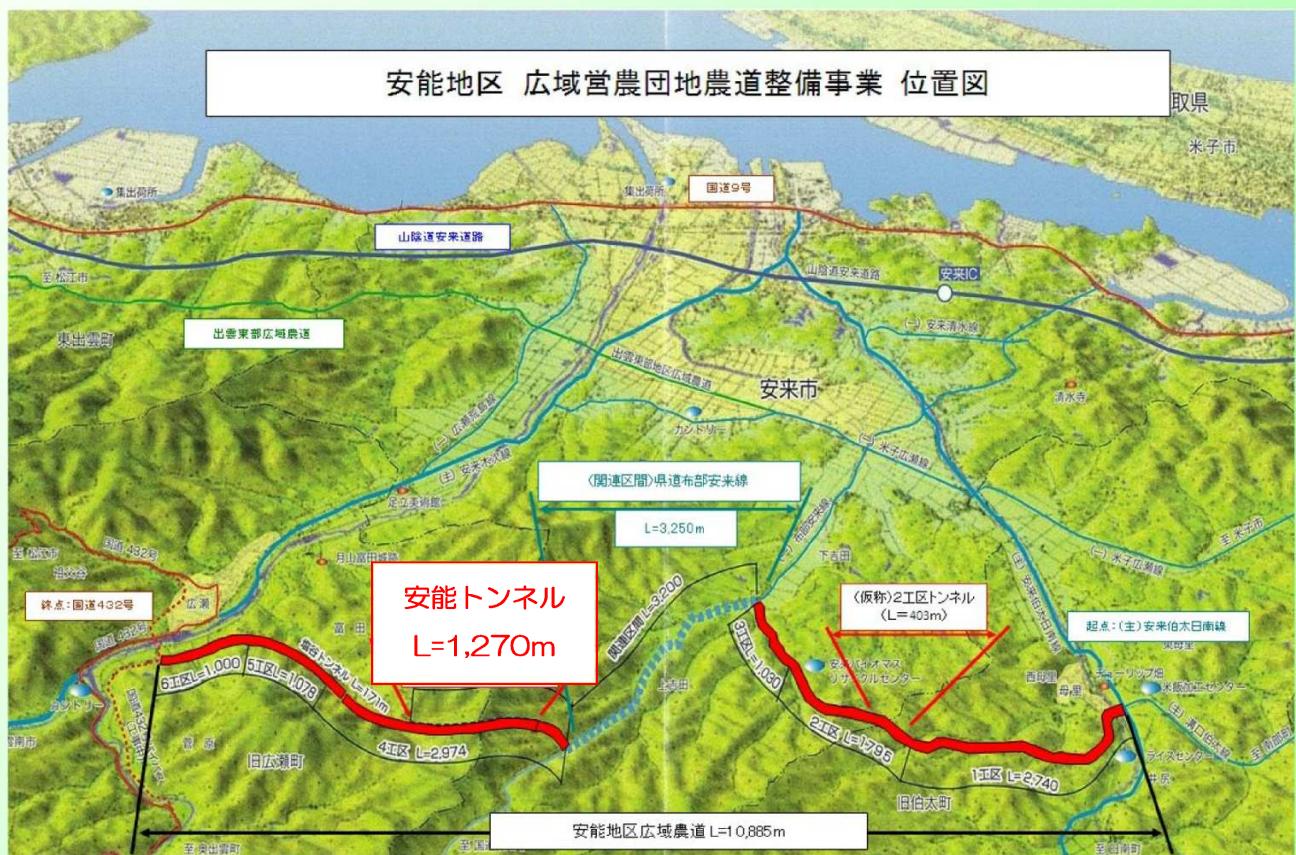
本農道は、主要地方道安来伯太日南線から国道432号菅原広瀬バイパスを結ぶ、延長約10.9km、全幅員7.0mの2車線の農道で、平成22年度末までに約6.2kmが完成しており、平成28年度全線完成を目指し整備を進めています。

今回、見学会が開催された「安能トンネル」は長さ1,270mのトンネルで、平成22年12月から工事着手しており、今年7月末現在、安来市上吉田町側の坑口から約100mの地点を掘削しています。

次のページで7月18日に行われた見学会の様子を紹介します。



県内位置図



☆ 安能トンネル工事見学会の様子 ☆

トンネル見学会は、①現場見学、②おもしろ実験の2部構成で行われ、地元（安来市上吉田町）の小学生とその保護者約60名が参加しました。

現場見学では、トンネル工事で使用する特殊な機械の説明やトンネル掘削、天井を覆うコンクリートの施工方法などの話を聞いた後、実際にダイナマイトの発破音を聞きました。また、おもしろ実験では、簡易水質調査パックを使い、地域を流れる吉田川で採取した水の水質を確認し、改めてホタルが生息する吉田川の水質の良さを認識しました。

参加した小学生たちは、初めて入る工事中のトンネル坑内の雰囲気やダイナマイトによる発破音に驚いた様子で、少し興奮気味に「ダイナマイトの音は初めて、迫力があった。」と話していました。



掘削箇所での工事説明



ドリルジャンボ（掘削機械）の説明



コンクリート吹き付け機の説明



発破音を聞いているところ



坑口にて、みんなで記念撮影



おもしろ実験でのクイズの様子

道路愛護等に努めた方々が表彰されました

8月25日、県庁知事室において、「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体又は個人に対する国土交通大臣表彰」の伝達式と「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」の授与式が行われました。



～国土交通大臣表彰～

国土交通省では、8月の「道路ふれあい月間」中に「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体または個人に対する表彰」という名称の国土交通大臣表彰を行っています。島根県からは3団体が表彰されました。

△受賞の皆様

八川本郷自治会（奥出雲町）

八川本郷地域全体の道路清掃・歩道清掃・植樹帯の清掃管理を、10年間続けています。また、幼児から高齢者まで自治会住民全員で活動に取り組んでおり、集落内のふれあいとコミュニティ形成に貢献しています。

- 構成人員：65人
- 年間作業日数：6回
- 作業路線：国道314号、上阿井八川線
- 作業延長：4.3km
- 従事年数：10年

大代高山会（大田市）

27年にわたり、県・市道の美化や草刈り、登山道も含めた地域内の「道」の管理保全を通し、地域活性化に取り組んでいます。また、作業路線は主要地方道でありながら狭小な区間が多いことから、周囲を見やすくするなど交通安全にも貢献しています。

- 構成人員：70人
- 年間作業日数：4回
- 作業路線：大田桜江線、大田井田江津線
- 作業延長：6.4km
- 従事年数：27年

五十猛町長寿会（大田市）

22年間、道路の美化や沿道の草刈りを行っています。苗から育てた紫陽花（あじさい）を道路沿いに植栽する等、積極的な活動を行っています。

- 構成人員：300人
- 作業延長：16.0km
- 年間作業日数：3～4回
- 従事年数：22年
- 作業路線：五十猛港線、久利五十猛停車場線



溝口善兵衛知事と記念撮影をされる代表者の方々。
右からハ川本郷自治会、知事、大代高山会。

～島根県知事表彰～

島根県では、「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」という知事表彰を行っています。道路部門では、長年の功績を称えられた団体が表彰されました。

◇受賞の皆様

●松ヶ丘自治会（益田市）

空港や公園周辺の県道の清掃・美化に努めています。また、自治会のみならず、知的障害施設や病院の入居者にも参加を呼びかけています。

●下内田二町内（浜田市）

町内36全世帯が構成員となり、沿道の草刈り・美化に努めています。

●円通和県道サークル（益田市）

通行車両の多い県道の清掃・植栽管理を行い、環境美化に努めています。

●中ノ手自治会（松江市）

小学校通路でもある県道の清掃・草刈りを行っており、環境美化だけでなく子どもたちの通行の安全にも貢献しています。

●土居自治会（松江市）

「ボランティアで住みよい町づくりをしよう」という会員の声から通学路の草刈りを実施し、環境美化や通行の安全に貢献しています。



(上)右から松ヶ丘自治会、知事、下内田二町内、円通和県道サークル。



(上)右から中ノ手自治会、知事、土居自治会（一番左は河川・砂防部門受賞団体）。

10 県知事共同で高速道路の早期整備を要望しました。

「第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す 10 県知事会議」

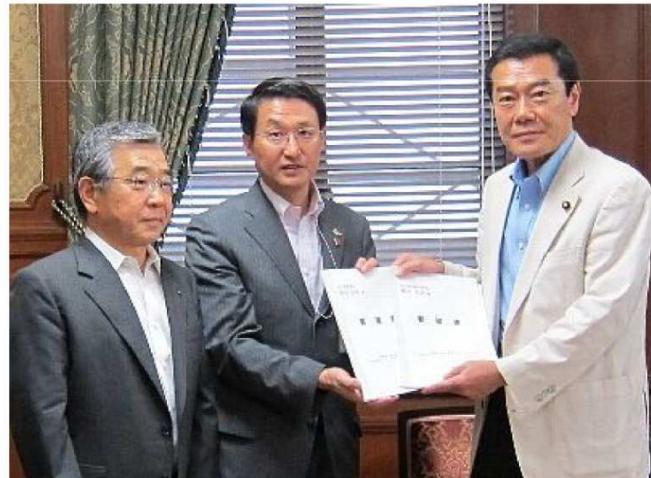
平成 23 年 7 月 29 日(水)、溝口知事は高速道路の整備が遅れる 10 県で結成した「第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す 10 県知事会議」で、三井国土交通副大臣及び与党幹事長室に対して「第一次的高速道路ネットワーク形成に向けた政策提言」(4 回目)を手渡しました。

<溝口知事の共同記者会見での主なコメント>

- 高速道路は産業、観光の振興、災害時の避難道路として欠かせない。
- 高速道路の整備は、地方を助けるという視点では無く、日本全体が豊かになるための国造りの大きな柱である。
- 国において、高速道路のネットワーク化、ミッシングリンクの解消を最重点課題として取り組んでいただきたい。



三井国土交通副大臣に政策提言



横浜民主党組織委員長に政策提言

第一次的高速道路ネットワーク形成に向けて ~震災の教訓を活かした高速道路のあり方~

私たち 10 県は、第一次的高速道路ネットワークの早期連結について、これまで 3 回にわたり政策提言を行ってきました。

この度の東日本大震災を受け、震災からの早期復興と地方の成長戦略を実現し、「元気な日本」を復活させるためには、復興を支援する三陸沿岸道路など地方にとってなくてはならない社会基盤である「第一次的高速道路ネットワーク」の早期連結が必要不可欠であります。

また、東日本大震災であらためて認識された高速道路ネットワークの緊急輸送道路の幹線としての重要性や、広域的物流機能を確保するための多重的ネットワークの有効性等を踏まえ、東海・東南海・南海地震など今後想定される大規模災害に強い国土を形成する上で必要不可欠であることから、次の事項について提言します。

- ① 「元気な日本」、地方の成長戦略を支える「第一次的高速道路ネットワーク」の早期連結を、国策として重点的に実施すること。
- ② 東日本大震災を教訓に、「第一次的高速道路ネットワークの早期連結」を「社会資本整備重点計画」の中に位置付けること。

※第一次的高速道路ネットワーク

国の骨格を形成するために最も早く整備されるべき
基幹的な高速道路ネットワーク

- ・高規格幹線道路の内第二東名・新名神・大都市の環状道路を除く。
- ・高規格幹線道路網の欠落箇所をつなぐ地域高規格道路（三陸北縦貫自動車道、鳥取豊岡宮津自動車道、阿南安芸自動車道）を含む。

提言書の詳しい内容は、鳥取県 HP に掲載されています。
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=171586>

